



いちかわみさと

第24号

2011年8月1日発行

議会だより



●甘々娘収穫祭

平成23年 6月定例会

●条例改正	2
●一般会計補正予算	3 (市川・上地区公民館で学童保育がスタート)
●常任委員会報告	4~5
●4議員が一般質問	6~8
●地域医療を守る特別委員会報告	10
●審議結果	11
●みんなのページ	12

第2回 6月定例会

平成23年第2回定例会は、6月6日から17日までの12日間にわたり開催されました。今定例会では、平成23年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、専決処分、条例改正など19議案、諮詢1件、発委1件が提案され、いずれも原案のとおり可決、承認しました。

II 条例改正 II

国民健康保険税条例改正

地方税法の改正に伴い

- ①国民健康保険税
- ②後期高齢者支援金等
- ③介護納付金・の課税限度額を改正するもの。

区分	今まで	改正後
①基礎課税額	50万円	51万円
②支援金分	13万円	14万円
③介護分	10万円	12万円

税条例の改正

被災者の負担を軽減！

東日本大震災の被災者等の雑損控除と住宅借入金等特別税額を選択で、平成22年度中の控除とすることができます。

職員の勤務時間、

休暇等に関する条例の改正

ボランティア休暇5日から7日へ……

東日本大震災の被災者を支援するボランティア活動への職員の参加を容易にするための改正。

職員給与条例の改正

新たに統括の設置で職員の資質向上を!!

市川三郷町を担う課長等の人材育成を目的とし、新たに課長等三珠地域活動支援センターが、就労継続支援事業所として認可されることに伴い改めるもの。

地域活動支援センター設置 及び管理条例の改正

市川三郷町を担う課長等の人材育成を目的とし、新たに課長等三珠地域活動支援センターが、就労継続支援事業所として認可されることに伴い改めるもの。

平成23年度



一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 **2,013万円**

総額 **84億1,859万円**

収入のおもな内訳は

地方交付税	1,825万円
国庫支出金	23万円
県支出金	165万円

おもな使いみち

総務費

契印機購入費 21万円

民生費

介護保険特別会計繰出金追加 835万円

放課後児童健全育成事業費追加 168万円

衛生費

町立病院事業会計負担金追加 318万円

戸別浄化槽整備推進事業特別会計繰出金追加 44万円

簡易水道特別会計繰出金追加 114万円

消防費

東日本大震災派遣職員費用 99万円



避難所のようす

教育費

市川東小学校臨時職員賃金追加 323万円

六郷小学校学力向上指定校事業消耗品費 41万円

和太鼓「響」補助金 10万円



六郷・響 演奏風景

商工費

市川三郷たばこ協議会補助金 10万円

歌舞伎文化公園管理特別会計繰出金追加 176万円

土木費

民間木造住宅耐震診断委託料追加 45万円

公共下水道事業特別会計繰出金追加 135万円

農林水産業費

下大鳥居地内用排水路調査業務委託設計料追加 143万円



常任委員会報告

(質疑の一部を要旨のみ掲載します)



総務教育常任委員会

総務教育常任委員会では、一
般会計補正予算の歳入全般と、

歳出の総務費、教育費、消防費等に対する議案1件。条例改正

1件の2議案を審査しました。

問 小学校のエアコン設置の進
ちょく状況は。

教育総務課長 資材調達に時間
がかかるている。

夏休み中には完了したい。

問 職員手当て中の、子ども手
当ては性質別予算で分けると、
どこに入るのか。

長沢総務課長 決算統計上、平
成22年度決算から、扶助費扱い
となる。

問 芸術文化振興費に、和太鼓
「響」の補助金が計上されてい
るが、他にも団体はあるのか。

伊藤生涯学習課長 三珠の歌舞
伎太鼓、一団体で同額の補助を
している。

問 校医報奨金の追加だが、生
徒数に關係するのか。
網倉教育総務課長 生徒数には
關係なく、一校あたりである。

問 学力向上指定校の、六郷小
学校で外部講師の依頼があるが、
対象は教師なのか児童になるの
か。

教育総務課長 内容を確認し、
講師を決めていく。

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、一般会

〔請願〕

計補正予算の民生費、衛生費等

1件、国民健康保険特別会計補
正予算など4件の5議案。請願
1件を審査しました。

問 子育て祝い金の追加、9名
分だが、事前に把握できなかつ
たのか。

一瀬いきいき健康課長 当初予
算計上時の見込み違いと、確認
不足であった。

問 学力向上指定校の、六郷小
学校で外部講師の依頼があるが、
対象は教師なのか児童になるの
か。

その結果、趣旨中の内容や考
方に意見の違いがあり、難しい
のではないかとの意見が多く出
され、最終的に採決の結果、不
採択すべきものとなりました。

員からの趣旨説明が行なわれ、
活発な質疑が行なわれました。
その結果、趣旨中の内容や考
方に意見の違いがあり、難しい
のではないかとの意見が多く出
され、最終的に採決の結果、不
採択すべきものとなりました。



委員会風景

常任委員会開会日

総務教育常任委員会 6月7日

厚生常任委員会 6月9日

土木環境常任委員会 6月13日

土木環境常任委員会

土木環境常任委員会では、一般会計補正予算の農林水産業費、土木費等1件、簡易水道特別会計補正予算など4件の5議案、請願1件を審査しました。

問 六郷地区下水処理場の年間汚泥量と処分方法は。

河西生活環境課長 処理量は212トンで、処分場は、富士川町のエコサイクルセンターに搬入している。

問 下大鳥居地内の水路調査の期間と対応時期は。

小林産業振興課長 3ヶ月の調査期間で、今年中まとめる。

問 山保地区合併処理浄化槽の工事内容は。

生活環境課長 壁の補修等を行う。

問 水路調査は、下水道工事の遅れが要因と考えるが、今後の予定は。

産業振興課長 調査結果により、工法等の検討を行い、工事着工は来年度以降となる。

〔請願〕

TPP（環太平洋経済連携協定）への交渉参加阻止に関する請願について、紹介議員からの内容説明後、賛成等の意見が出され、採決の結果、採択すべきものとなりました。

問 住宅リフォーム助成制度の申請数と、その工事費の総額は。

加藤建設課長 現在19件の申請があり、総額2,876万円ほどである。



議会傍聴に お出かけください

次回定例会は9月中旬に
予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆6月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 7人 委員会 5人

◆会議録検索システム利用件数

1月から6月まで 2,267件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL055-272-1108



下大鳥居地内水路

ここが 聞きたい

一般質問

行政をただす

町の行政全般に対して、事務事業の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信をただしました。

- ◆ホームページで本会議の議事録を検索できます。
- ◆議事録は議会事務局で閲覧できます。
- ◆ホームペー^ジで本会議の議事録を検索できます。
- ◆顔写真は年1回初回のみとします。

防災計画の再検討は

一瀬 正

— 県と歩調をとり対策を講じる —

問 大地震を教訓として防災計画の再検討が必要と考えるが。

答 大地震直後の花火大会実施に対する方針は。

町長 対応、対策が機能しなかつたことを経験として、個人の備蓄の大切さ、民間企業協定の締結、応急仮設住宅への対応、被害状況収集へのあり方等々、県防災計画と歩調を合わせて、対策を講じていく。

問 統括課・企画課・政策推進室の担当する事務は競合しないのか、いきいき健康課と福祉支援課の統一問題など、政策を開拓するうえで支障や無駄はないのか。

町長 行政の横串的な機能を持つ政策推進室と政策を立案する企画課と、新入課長等を指導し課長職の資質の向上に寄与する統括の職務とは競合しないと見える。ふたつの課の統一問題は、町民サービス、本庁のスペースの問題があるので、機構改革の推進等とともに考えていく。

問 町立病院を存続させるうえで、医師、看護師による訪問診療は。

町長 医師確保を行う中、黒字運営に向け鋭意努力している。訪問診療について、地域で生き、満足できる在宅医療の推進に努めていく。

一般質問

地震、風水害対策は万全か!!



遠 藤 浩

危険箇所の対策を引き続き行う――

問 急傾斜地崩落危険箇所、地すべり危険箇所の対策工事の進捗状況は。町長 県の想定調査で84ヶ所が指摘され、工事中を含め10ヶ所。地すべり危険18ヶ所中工事着手済11ヶ所であり、今後も順次着手する。

問 狹い道路の拡幅、グリーンベルト、防災スペースの推進状況は。町長 道路拡幅や地域資源を生かした小公園の整備を行っているが、防災機能の役割を担う施設としては不足している。

活力あるまちづくりの推進を!

笠 井 雄 一

組織の立ち上げを早急に行う――

問 町全体を見据え、官民一体となり、中部横断自動車道・リニア中央新幹線の活用につき検討は。町長 リニア中央新幹線の新駅設置が示される見通しの中、リニアを活

用した町の活性化、基盤整備、土地利用規制等の調査・研究する組織を7月に立ち上げ、中部横断自動車道の活性化策ともリンクさせながら、活力あるまちづくりを推進していく。

問 近隣町村との連携状況は。町長 しつかりとした考え方を持ちながら、近隣町村とも協調していく。問 救急医療情報キット配布事業の申請状況、配布・活用状況は。町長 申請状況は、対象1、955世帯中、現在1、239世帯に配布し、5月まで6件の救急対応の際、記入され活用できたのが3件、記入なく活用できなかった家庭が3件であり、さらに情報記入の徹底支援を進め、対象世帯の高齢者のみの世帯に加え、

問 ソフト面での災害対策は、建設課長 土砂災害の避難訓練、パトロールの実施、昨年洪水ハザードマップを配布したので、地域での活用を周知している。

問 災害時の電力供給確保のため、遊休地を利用したソーラー発電の計画は。町長 自然エネルギー協議会や、県と東電によるソーラー発電事業等の状況を見ながら、※PPP活用も併せて研究していく。

※PPP（パブリックプライベートパートナーシップ）は、官と民がパートナーを組んで事業を行うこと。

問 義務的経費比率が40%を超えているが、財政の硬直化の心配は。町長 予算、決算ベースと算出方法があり決算ベースでは、合併後も40%を上回っていない。



玄関先のステッカー(医療キット)

一般質問

建築物の耐震化の進捗状況は

宮崎 博巳

一般住宅48、6%の耐震化

問 一般住宅・特定建築物・災害時の拠点となる施設の耐震化率は。

町長 一般住宅48、6%、特定建築物86、4%、拠点施設88、5%である。

問 一般住宅の耐震率が27年度目標80%に対し低くすぎるが。

組合議会の報告

三郡衛生組合

第1回定例会3月23日

峡南衛生組合

積立金に88万円の追加です。

23年度予算は、地方交付税算入負担金の減と、ゴミ処理施設の組合債

一本の償還終了により前年度より、18、65%の減額予算です。

員の選任の3議案が原案通り可決・が選任されました。

22年度補正予算は、財政調整基金

が選任されました。

(報告 内藤 優)

町長 非常に難しいが検討する。
問 人命を守るために、シェルター設置も考える必要があると思うが。

建設課長 本町にも耐震シェルターに関する補助要綱があり、希望があればおこなう。

問 災害時に拠点となる施設の診断・改修時期は。

町長 25施設中、残り3施設であり、三珠福祉センターは、本年度実施、

三珠支所・市川町民会館も、随時行つていただきたい。

問 耐震改修費用の補助金の限度額が60万円と十分でないことも理由ではないかと思うが。

町長 4月現在、対象者は1,792名、登録者数246名で支援体制は、地域での支援者を2名決めておき、自主防災組織の連携による支援体制を推進している。

問 対象者に対し、登録者数が少ない理由は。

福祉支援課長 新規登録が少ないが、今後努力していく。

問 空き家・廃屋対策として、助成制度創設の考えは。

町長 県や他の自治体の動向を見るなど、検討したい。

問 災害時要援護者の対象者・登録希望者数および連携体制は。

町長 4月現在、対象者は1,792名、登録者数246名で支援体制は、地域での支援者を2名決めておき、自主防災組織の連携による支援体制を推進している。

問 対象者に対し、登録者数が少ない理由は。

福祉支援課長 新規登録が少ないが、今後努力していく。

中巨摩地区広域事務組合

第1回定例会 3月30日

提出された案件は、条例改正1件、
22年度補正予算5件、23年度当初予
算6件、人事案件2件の14議案が原
案通り可決・同意されました。

条例の改正は、職員の勤務時間、
休憩等に関する一部改正です。

22年度補正予算では、歳入は繰越
金の追加で、歳出は財政調整基金の
積立金が主なものです。
23年度予算の総額は、前年度比較
6、2%の減額で主な要因は公債費

において償還金の減額によるもの。
勤労青年センター事業特別会計
において体育館耐震補強工事費
5、250万円が計上されています。

23年度予算 峡南衛生組合

一般会計	3億9,888万円
(し尿処理事業)	5,564万円
(ゴミ処理事業)	2億5,165万円
(火葬事業)	2,074万円
本町の負担金	6,442万円

23年度予算 三郡衛生組合

一般会計	1,722万円
し尿処理事業	3億2,007万円
火葬事業	2億 581万円
本町の負担金	5,496万円

23年度予算 中巨摩地区広域事務組合

一般会計	3,680万円
ゴミ処理事業	16億2,713万円
地区公園事業	926万円
老人福祉事業	3,599万円
勤労青年センター事業	1億 448万円
し尿処理事業	2億5,806万円
(本町は対象外)	
本町の負担金	1億7,487万円

23年度予算 峡南広域行政組合

一般会計	15億7,300万円
介護保険事業	2億4,114万円
峡南ふるさと市町村事業	2,082万円
本町の負担金	3億5,152万円

峡南広域行政組合

第1回定例会 3月31日

専決処分の承認が2件、条例改正
1件、22年度補正予算3件、当初予
算3件の9議案は原案通り可決・承
認されました。

ゴミ処理事業補正予算で、訴訟に關
わる手数料及び弁護士費用を151

万円追加し、調停の申し立ての3件
が、原案のとおり可決・同意されま
した。 (報告 小林 一史)

条例改正は、地方公務員法の一部
改正に伴う、非常勤職員の育児休業
等の取得の改正です。

補正予算では執行状況による歳入
で、繰越しの追加を行ない、歳出で
は各種基金への積み立て等を行なう
ものです。 (報告 望月 隆夫)



地域医療を守る

市川三郷町

地域医療を守る特別委員会報告

市川三郷町地域医療を守る特別委員会（秋山詔樹委員長）は、昨年12

月より6回にわたり委員会を開催。

・市川三郷町地域医療について

・地域医療調査検討委員会の中間報告

・町立病院の現状・峠南北部医療調査検討内容等の説明

・第5回地域医療調査検討委員会の内容

・町立病院の今後のあり方

また、県の地域医療再生計画に基づく調査検討委員会の検討内容について、検討を重ねてきた。

特別委員会では、市川三郷町立病

院・社会保険鰐沢病院・医療法人峠南病院との統合案についても慎重に

検討してきたが、全国の社会保険病院と厚生年金病院を公的病院として存続させるため、独立法人「年金・健康保険福祉施設整理機構」（RF

O）を、病院を運営する組織に変更する法案が6月17日、参議院本会議で賛成多数で可決、成立したため、今後内容を国に確認し、町立病院の今後についても慎重に検討していく。

23年5月26日自治会館講堂において、新潟県立大学准教授の田口一博氏を講師に招き、「町村議会の現状と課題」—地方自治法2011年改正と、次にくるものーをテーマに議員多数が参加し、開催されました。



研修会風景

町村議会議員研修会

請
願

採
択

ＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）への交渉参加拒否に関する請願

請
願
人

西八代郡農業協同組合

代表理事組合長 岸本富次

市川三郷町市川大門1801

紹介議員

小林一史
村松武人

内閣府に意見書の提出を決定しました。

請
願

「子ども、子育て新システムの基本制度要綱」に基づく保育制度に関する意見書提出についての請願

請
願
人

山梨県保育運動連絡会

会長 秋山ほなみ

紹介議員
甲府市朝日2丁目3-15

一瀬 正

不
採
択

契約先 東八防災㈱
笛吹市御坂町

八千歳287

契約金額

20,968,500円

4台購入契約
消防小型ポンプ積載車

人
事

人権擁護委員

小林 潔氏

昭和13年10月1日生
市川三郷町山保6407番地



審議結果

- ◎第2回6月定例会（6月6日～17日）結果
- ・市川三郷町国民健康保険税条例中改正の専決処分 承認 全会一致
 - ・市川三郷町地域活動支援センター設置及び管理条例中改正の専決処分 承認 全会一致
 - ・平成22年度市川三郷町一般会計補正予算（第11号）の専決処分 承認 全会一致
 - ・平成22年度市川三郷町公共下水道事業特別会計補正予算（第8号）の専決処分 承認 全会一致
 - ・平成22年度市川三郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）の専決処分 承認 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町一般会計補正予算（第1号）の専決処分 承認 全会一致
 - ・市川三郷町税条例中改正 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町一般会計補正予算（第2号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町介護保険特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町簡易水道特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・平成23年度市川三郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 可決 全会一致
 - ・市川三郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正 可決 全会一致
 - ・市川三郷町職員給与条例中改正 可決 全会一致
 - ・市川三郷町消防小型ポンプ積載車購入契約の締結 可決 全会一致
 - ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 適任 全会一致

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名(区分)・顔写真
の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ:議会事務局 055-272-1108



市川保育所の子どもたち!

今年度は73名の園児と11名の職員で《地球に優しく・みんなに優しく・自分に優しく》を目標にして色々な活動に励んでいます。

全園児一緒に遊んだり行事に参加する度に『友達や小さい子に優しく』リサイクル活動や野菜の栽培を通して『地球に優しく』などを経験した子ども達は、いろいろな場面で元気な姿を見せてくれるので楽しい毎日となっています。

市川保育所では、子ども達一人ひとりが昨日より今日、今日より明日へ健やかに伸びやかに♪明日へつづく♪ことを願っております。

♪桃組さんも、白組さんも、赤組さんも、
黄組さんも、青組さんも、明日へつづく
地球に優しく みんなに優しく 自分に優しく ひとりじゃないさ♪



親子でつくったお弁当!! 元気な年長さん

議会広報編集特別委員会
委員長 市川朝嗣
副委員長 宮崎博巳
委員 岩井雄一
有泉充朗
川崎市川
土屋惠三郎
希充朗

六月の定例議会で、町長が先人・老人の方々の知恵を活用することも必要である旨の答弁があつた。歴史の浅い観測データ等よりも、昔からの言い伝えの方が的確な点が多いかも知れない。(記 川崎充朗)

日本は、四季の国と言われて
いるが、梅雨と秋雨とで六季を感じる。この二つの長短がある季節、大半の人に嫌われているが作物の生育には大切な季節であり、米作・筍等の豊作凶作に大きな影響を及ぼす。又、長雨は災害を発生させ猛威を振うこともある。三月の大震・大津波・原発事故と日本人が経験したことのない災害に見舞われ、原因はいろいろあるが復旧の目途はまだ立っていない。

編集後記